

市民アンケート調査結果

2015年4月実施の市民生活アンケート

アンケートについての問合せ先【経営管理部企画財政課】 ☎24・2222（内線254）

下呂市では、第二次総合計画の市の将来像に掲げる「もっと住みたい訪れたい みんなのふるさと わくわく下呂市」の実現を目指しさまざまな取り組みを行っています。市民の皆さんが日頃感じていることや市政に對しての意見を伺い、より計画を推進していくことを目的にアンケート調査を行いました。対象者は、市内在住の20歳以上の方の中から無作為に抽出した2千人で、回収率は1056名で52.8パーセントでした。

◆回答者内容

男女別	男性 (438人)	41.5%
	女性 (604人)	57.2%

(未記入14人・1.3%)

年代別

20代 (46人)	4.4%
30代 (107人)	10.1%
40代 (141人)	13.4%
50代 (161人)	15.2%
60代 (253人)	24.0%
70代以上 (338人)	32.0%

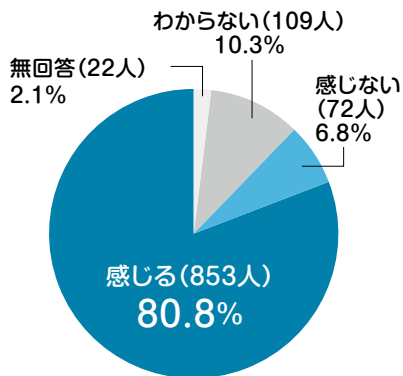
(未記入10人・0.9%)

◆アンケート結果

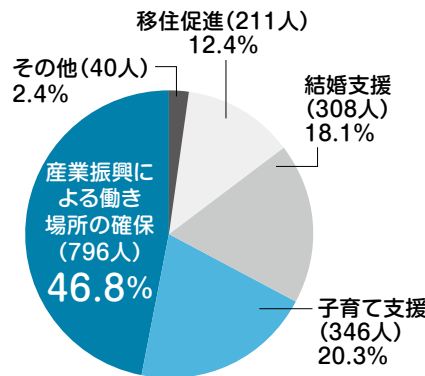


●人口減少・空き家についておたずねします

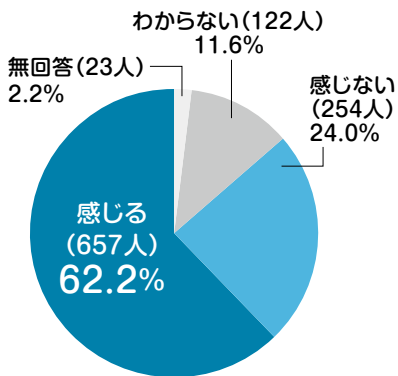
問1 人口減少について危機感を感じていますか？



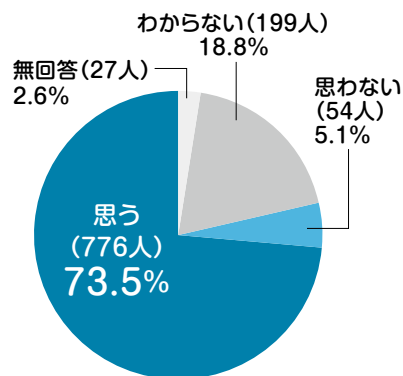
問2 人口減少を食い止めるために何が必要だと思いますか？
(項目の選択は2つまで)



問3 あなたのお宅のまわりに空き家が増えてきたと感じていますか？



問4 空き家を有効に活用するため、移住者へ空き家を貸し出すなど、積極的に移住者を受け入れるべきだと思いますか？



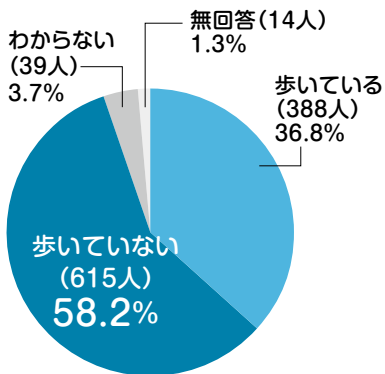
【結果から】

“人口減少”について、「危機感を感じている」と答えた方の割合は、80%以上と非常に高くなっています。自治会の運営や地域の伝統行事などを続けることが難しくなっていくというような危機感の表れと推察されます。住んでいる地域に愛着を持ち、住んでいて良かったと思えるような地域づくりを今後も行っていく必要があります。

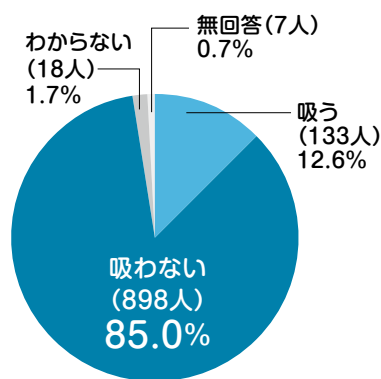
空き家を活用した移住者の受け入れの問いに對し、「思う」と答えた方は全体の約73%と高い割合を示しています。現在各地域の区長さん方にお願ひし、空き家の調査を行っています。現状を把握するとともに徐々に地域の理解を深めながら、空き家対策を進めていく必要があります。

●健康・医療についておたずねします

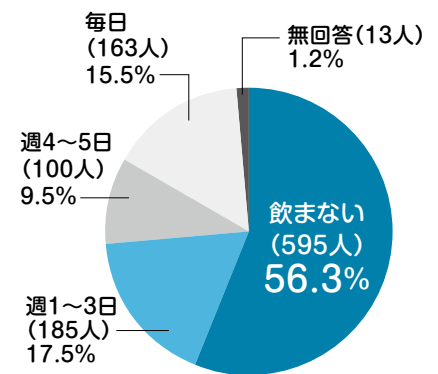
問1 日常生活において1日1時間以上歩いていますか？



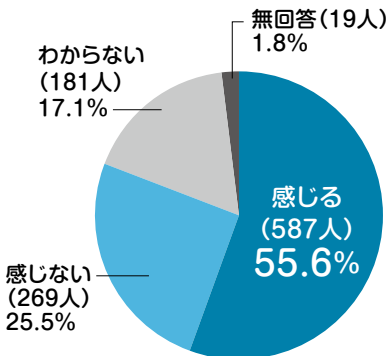
問2 あなたはタバコを吸いますか？



問3 あなたの1週間当たりの飲酒頻度を教えてください。



問4 あなたは健康な生活が送れていると感じますか？

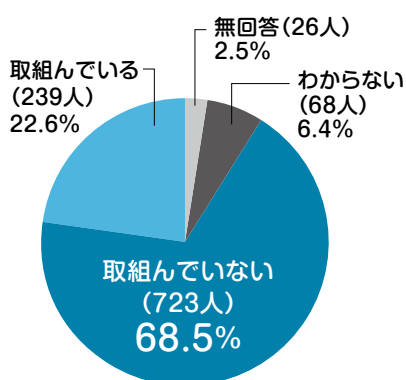


【結果から】

更に健康づくりを進めるため、毎日の暮らしの中で、今より10分多く歩く(身体を動かす)、+10(プラステン)を進めます。また、市内各所で開催されるウォーキングイベントの周知やリバーサイドスポーツセンター、上ヶ平サンビレッジ、しみずの湯といった健康増進施設の利用を勧め、歩く時間や運動時間の増加につなげます。

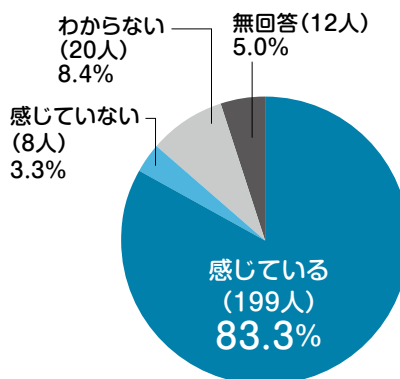
●生涯学習についておたずねします

問1 あなたは日常何らかの生涯学習に取り組んでいますか？

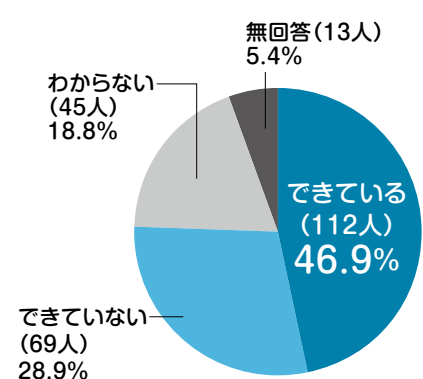


問1.で「取り組んでいる」と答えた方

問2 生涯学習を通じて生きがいを感じていますか？



問3 生涯学習を通じ、身に着けた知識や技術を、地域や社会に生かすことができますか？



【結果から】

「生涯学習に取り組んでいる」と答えた方は、全体の22.6%と低い割合となりました。今後は生涯学習を進めるため、「下呂市生涯学習の基本方針」を作成し、1学習、1スポーツ、1ボランティア活動を推進します。

